

議事録（抄）

	第 19 回唐津市子ども・子育て会議
開催日時	令和 7 年 2 月 21 日(金) 10:00～11:35
開催場所	唐津市役所 4 階 大会議室北側
出席者	山口委員(会長)／浦本委員(副会長)／鈴木委員／保利委員／ 石田委員／小宮委員／中村委員／本吉委員 8名出席 ※順不同
議題	(1)こどもの意見聴取 実施報告【資料1】 (2)唐津市第三期子ども・子育て支援事業計画について ア パブリックコメントの結果について【資料2】 イ「唐津市第三期子ども・子育て支援事業計画(案)」の承認について【資料3】 (3)その他(報告事項:保育所の廃止、新規設置等)【資料4】
資料	【資料1】こどもの意見聴取 実施報告 【資料2】パブリックコメントでの意見及び回答 【資料3】唐津市第三期子ども・子育て支援事業計画素案及び変更点概要 【資料4】保育所の廃止、新規設置等資料

会 議 内 容
10:00 開会 <資料の確認> <あいさつ> (保健福祉部部長)本日は御多忙の中、唐津市子ども・子育て会議に出席いただきありがとうございます。今回の会議では「こどもの意見聴取」「パブリックコメント」の結果報告、計画最終案の検討が主になってくる。委員の皆さまには、昨年3月から熱心にご討議いただきありがとうございました。皆様にご討議いただいたおかげで、最終案作成まで行うことができましたこと、感謝申し上げます。計画策定に向け最後までよろしくお願いいたします。 <会議成立の報告> (事務局) 本日は委員 13名中8名で、半数以上の出席により会議成立となる。 <会長あいさつ> (会 長) 本日が最後の会議となる。今までのご意見をもとにここまでくることができて最終案になった。計画はスタートラインであり、これをどう生かしていくかが一番大事。引き続き皆さんの想いを伝えていただき、ご意見などよろしくお願いいたします。 <以下、会長の進行> ●議題1 こどもの意見聴取 実施報告 (資料1に沿い事務局より説明) (事務局) 令和6年12月26日に大手口別館にて実施した、「唐津市こども・若者ヒアリング～からっつ子 VOICE～」の実施内容について説明。

【質疑】

(会 長) 会場の雰囲気などはどうだったか。

(事務局) 入場当初は緊張しているようだったが、BGMやお菓子などでヒアリング開始のころにはうちとけた感じだった。それぞれのテーブルで話が盛り上がっていたと思う。こども・若者とあるとおり、若者になっても意見をもらいたいが、また参加してもらえるかな、との問いかけにはうなずいてくれていた。ヤングケアラーの話題などでは、鋭い意見も多く出た。唐津市には若い時は住みたくないが老後に住みたいなど、耳の痛い意見もあった。率直に発言してくれていたと思う。

(会 長) 自分も見学していたが、グループに参加していた市のファシリテーターがよく溶け込んでいたと思う。帰り際、こどもたちが「またやりたいね」と言ってくれていたのが嬉しかった。若い人も場を求めているんだな、きっかけづくりは大事なのだなと思った。

(副会長) 報告の写真のこどもの表情がよい。こどもたちの声にもある通り、よかったと思う。

(会 長) ヒアリングのようなものはこれからも大切になっていくと思うので、今後も定期的にこどもの声をひろってけるとよい。

●議題2 第三期子ども・子育て支援事業計画について

(会 長) ア パブリックコメント結果について事務局から説明をお願いします。

(資料2に沿って事務局より説明)

【質疑】

(会 長) さまざまな計画策定に携わっており、これほど多くのパブコメ意見が来ることはなかなかないように思う。とてもよく計画を見て意見をくれた印象だ。市民がこういった計画、市の考え方などに目を向けてくれることが大事だと感じた。委員の意見はあるか。パブリックコメントへの対応についてはこれでよいか。

【委員承認】

(会 長) では回答をこれで進めてほしい。

(事務局) 必要な手続きを取って、HP で公表いたします。

(会 長) イ 「唐津市第三期子ども・子育て支援事業計画(案)」の承認について、事務局から説明をお願いします。

(資料3について事務局より説明)

(事務局) 前回の計画素案から変更・追加となった点について説明する。語句等の修正は除き、構成の変更や追加事業等を変更概要に沿って説明。資料には間に合っていないが学校給食の支援について追加する予定。本日欠席の委員にも本日までの期限で意見を求めているが、現在のところ意見はないのでこれを最終案としたい。

【質疑】

(委 員) 最初の議題でもあった、こどもの意見聴取は今後も続けてほしい。可能なら今後は中学生の声も聴いてもらえればと思う。他自治体では奨学金の負担を全て負担する例もあるが、唐津市でも検討してくれるとありがたい。妊婦の負担軽減の

ための給付について、お産への補助的なものもあるといいなというお母さんの声もきく。今後もよろしくお願いしたい。

(委 員) 市が子ども・子育て支援事業計画をしっかりと作り、唐津のこどもたちは恵まれているな、と感じた。私どもでマルシェを開催し、高校生にボランティア参加してもらった時、企画などにも参画してくれて、生き生きと取り組んでくれた。子どもの意見にもイベント参加などの声あった。唐津市には保育者の養成校がなく、佐賀や長崎にみんな行ってしまってたなかなか戻らないという。唐津に戻りたいと思う体験は大事だし、幼児教育の仕事の魅力を伝えることも大事と思う。5章にあるヤングケアラー支援の流れの図はとてもよい。

(委 員) 保護者としてこれらの事業に感謝している。会議の委員になり、より子ども・子育てについて考えるようになった。市から出て戻ってくるかどうかは微妙ということもの声などを見ると、自分の場合は唐津に帰る、唐津に住むと決めていたので、こどもたちもそう思えるように頑張っていきたい。

(委 員) この会議で市の支援などを改めて知ることが多く、よかった。高校生のこどもたちの意見があったが、自分のこどものその時代でも、放課後に勉強する場所がない、ボートレース場も行く足はないという状況で、高校の近くにそういう場所の提供があるとよかったと思う。そうしてみんな福岡に出してしまう。郡部だとバスも便が悪く、車がないと暮らせない。

(委 員) 資料をみて、継続的に取り組んでもらいたいと思った。自分の職場で採用面接していた時、自然が多い、お城、くんち、食べ物、人とのつながりなど、こどもの意見にあるようなことが志望動機としてよく聞かれた。こどもの貧困について、家庭が貧困の状態であると、傾向として詐欺被害にかかりやすかったりする。SNSでの詐欺などの対策や、啓蒙、こどもの時からお金の勉強をするなど、支援できるとよいなと思う。

(委 員) 高校生の意見は市民の皆が思うことと同じだと感じた。スクールソーシャルワーカーなどは身近じゃないという意見は、これではもったいないと思った。何かあれば相談、解決してくれる存在だと思う。もっと生かせればよいと思った。

(副会長) 皆さんの意見と同様の感触がある。こどもを産んだが、経済的事情などでこどもに意識が向かない、悩みがある、悩みそのものに気づかない、など感じることは日々ある。このように計画に書かれている事業が充実していけば、唐津市のめざす「こどもまんなか社会」が広がっていくだろうと期待する。この計画は、今後を見通していくためにも大事と思う。公開の方法は？

(事務局) HP 上にPDFで掲載する。

(副会長) 「こどもまんなか」のツールバーから入ると、この計画が真ん中に目立って出てくるくらいになるといいなと思う。

(会 長) 計画ができれば、市のLINEなどでも通知をお願いしたい。自分も勉強になった。この会議への参加がそういったきっかけになり、新たな気づきが得られた。事務局の皆さんは大変だったと思う。お疲れさまでした。

(事務局) 補足として、こどもの意見聴取は、アンケートで小中学生に意見を聞いているので、今回のヒアリングは高校生とした。今回のこども・若者ヒアリングの内容は全庁内で共有している。今後もこども・若者施策に関して、全庁で連携して対応していきたい。

(会 長) これが最終案となるが、委員各位、承認いただけるか。

【全員挙手で承認】

(会 長)このとおり、承認された。細かな語句等の修正は事務局に一任する。

(事務局)本日、承認・提案していただいた計画案につきましては、今後必要な手続きをとりまして、第三期唐津市子ども・子育て支援事業計画として策定してまいります。

●議題3 その他(報告事項:保育所の廃止、新規設置等)

(資料4について事務局より説明)

【質疑】

(会 長) 資料にある乳児等通園支援事業の認可とは、誰でも通園制度のことか。保育園、幼稚園などに通っていない子どもたち対象ということだったと思う。委員各位も、これを使える人にお伝えいただけるとよいと思う。一時預かりというものもあることなど、周囲の人にお伝えいただけるとよい。

(事務局)今回の報告は、誰でも通園制度の余裕活用型について認可するということであり、どの園が実施していくかはこれからとなる。

(会 長) どこがやるのか、いつごろにわかるか。

(事務局)3月中旬ごろになると思う。

(会 長) 決まったらホームページなどで告知してもらえればと思う。以上で議題は終了となる。事務局に進行を戻す。

○会長より市長(代理:保健福祉部長)に計画案を提出

○市長からの御礼の言葉(保健福祉部長による代読)

(会 長)委員の皆さんに感謝したい。またお会いする機会もあろうかと思うが、皆さんも各現場、地域で計画のことを広め知らしめてくれると嬉しい。ありがとうございました。